

### 3. 市民ニーズ

#### 3.1 市民アンケート調査

現況の交通行動や公共交通サービスの満足度・重要度の把握を行うとともに、草津市民が望む将来交通のあり方を整理するため、以下のアンケート調査を実施した。

##### 【調査の概要】

- 調査対象：草津市民（18歳以上）  
発送日：平成24年11月上旬  
配布・回収：ともに郵送  
配布数：6,000部  
回収数：2,196部（＝回収率約37%）  
調査内容：① 回答者の属性  
② 歩行環境  
③ 自転車の利用環境  
④ 公共交通の利用環境  
⑤ 将来交通のあり方

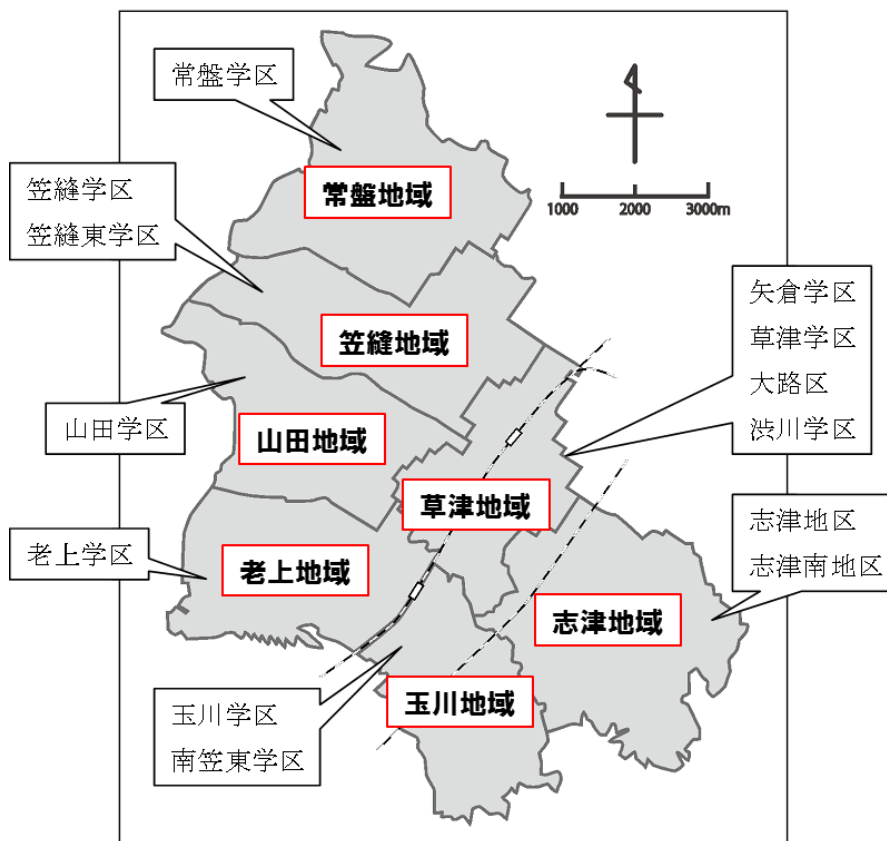


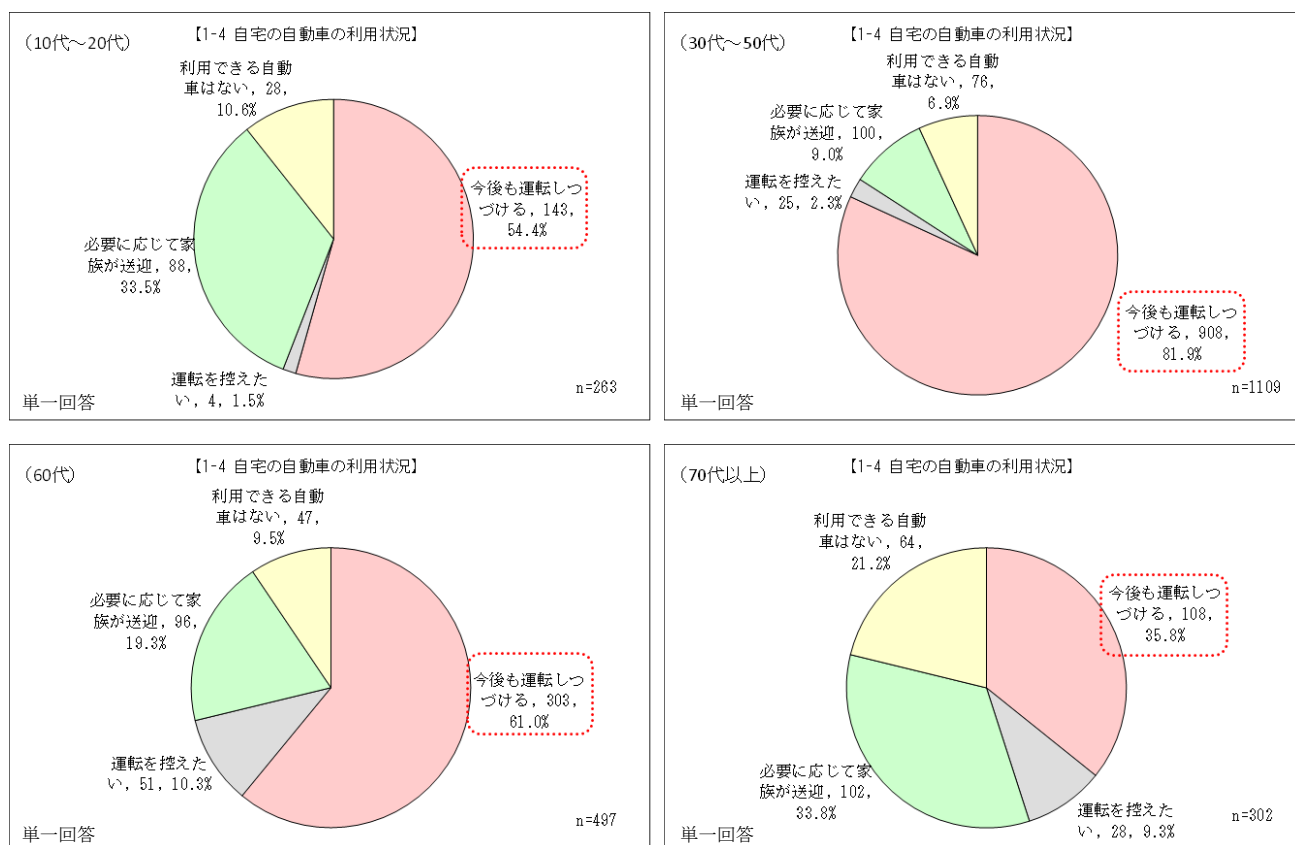
図 地域区分

(1) 自動車の利用状況（回答者の属性）

自動車の利用について、いずれの年代においても“今後も運転し続ける”とする回答者が多い。なかでも、30～50歳代においては8割を超えている。また、60歳代においても6割以上の方が“今後も運転し続ける”と回答している。

一方、70歳代以上になると、“必要に応じて、家族が送迎”や“利用できる自動車はない”とする回答者の割合が高くなっている。

また、60歳代、70歳代以上では、“運転を控えたい”との回答者が1割程度存在しており、高齢社会においては、自動車にかわる交通手段の必要性が高くなると考えられる。



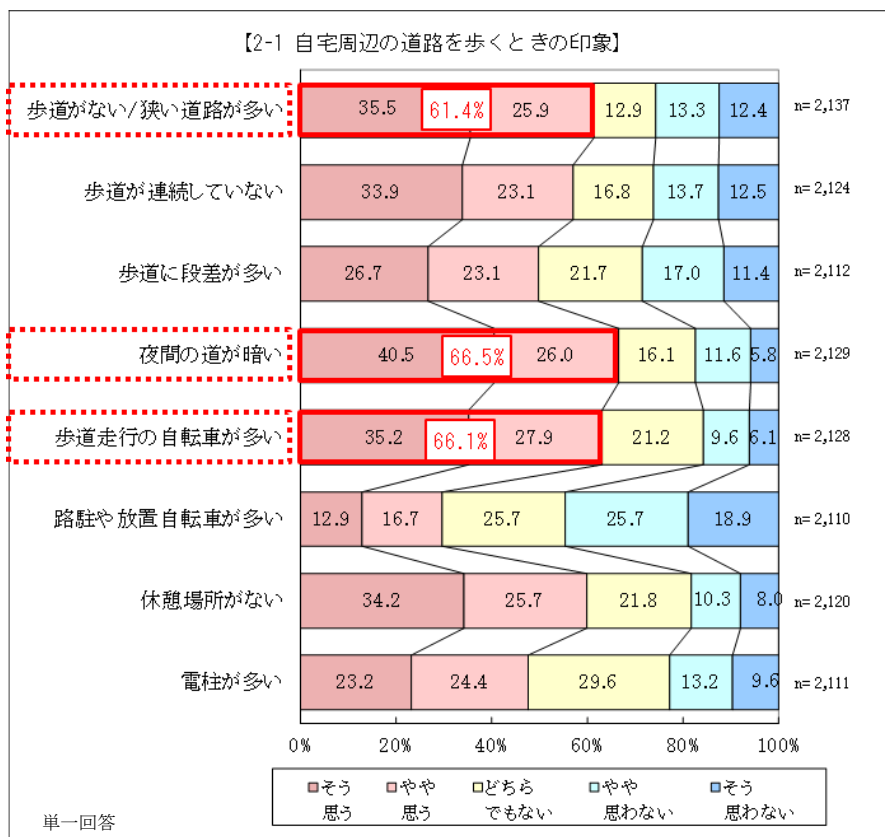
資料：草津市民の交通に関するアンケート調査

図 年齢階層別に見た自動車の利用状況

(2) 歩行環境

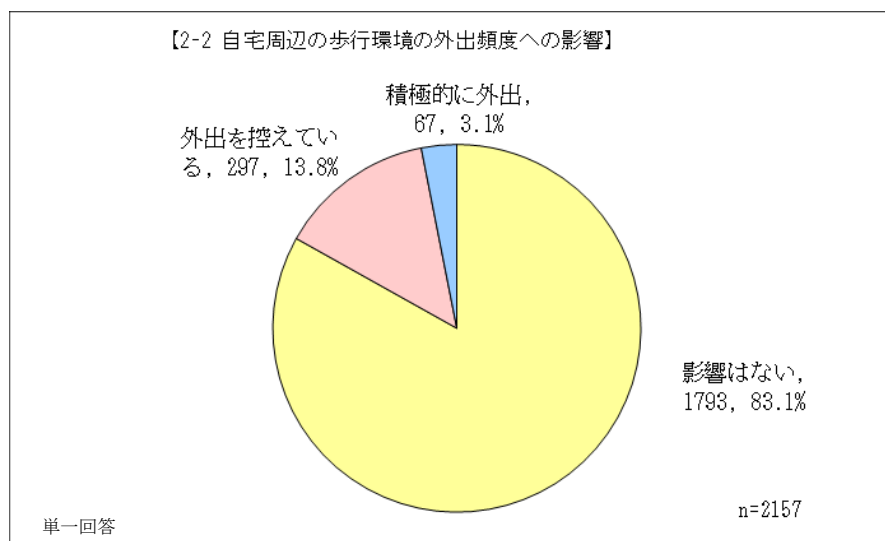
“歩道がない/狭い道路が多い”や“歩道走行の自転車が多い”と感じる人が6割を超え、適切な歩行空間が確保されていないと考えられる。また、“夜間の道が暗い”と感じる人が約67%と最も多くなっている。

自宅周辺の歩行環境がこのような状況であることもあり、外出頻度への影響があると回答している人が、全体の約14%存在している。



資料：草津市民の交通に関するアンケート調査

図 自宅周辺の道路を歩くときの印象



資料：草津市民の交通に関するアンケート調査

図 自宅周辺の歩行環境が及ぼす外出頻度への影響

全市的に、自宅周辺の道路を歩くときの印象について“そう思う”・“やや思う”の合計が6割以上と意見が多かった“歩道がない/狭い道路が多い”や“夜間の道が暗い”については、大きな地域差はみられない一方、“歩道走行の自転車が多い”については、駅周辺地域で印象が強い傾向となっている。

また、常盤地域、山田地域、志津地域などの郊外部では、“歩道が連続していない”の印象が強くなっている。一方、草津川以北の地域では、“休憩場所がない”の印象が強くなっている。

	常盤地域	笠縫地域	山田地域	草津地域	志津地域	老上地域	玉川地域
歩道がない／狭い道路が多い	○	○	○	○	○	○	
歩道が連続していない	○		○		○		
歩道に段差が多い							
夜間の道が暗い	○	○	○	○	○	○	○
歩道走行の自転車が多い		○		○	○		○
路駐や放置自転車が多い							
休憩場所がない	○	○	○	○			
電柱が多い							

郊外部で印象が強い

駅周辺等で印象が強い

草津川以北の地域で印象が強い

○：自宅周辺の道路を歩くときの印象について、“そう思う” “やや思う”の合計が6割を超えた項目

資料：草津市民の交通に関するアンケート調査

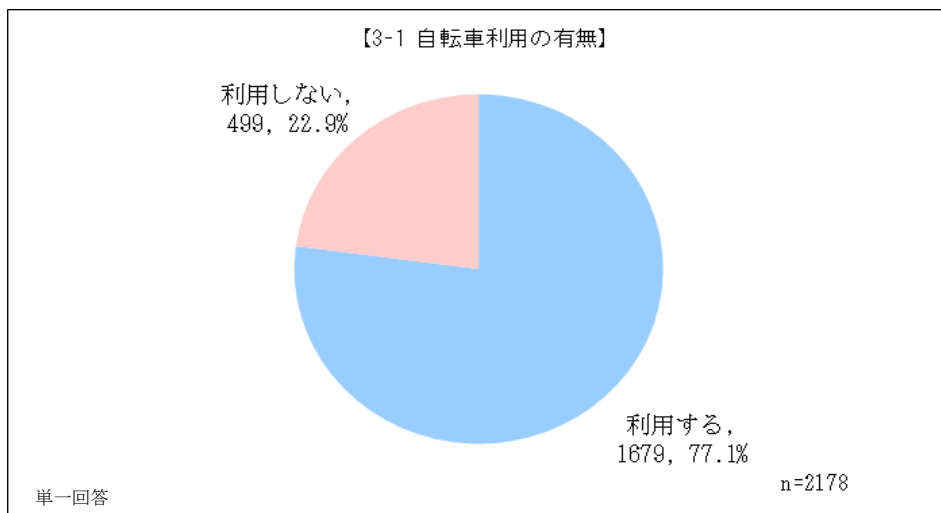
図 自宅周辺の道路を歩くときの印象【地域別】

### (3) 自転車の利用環境

#### ① 利用状況

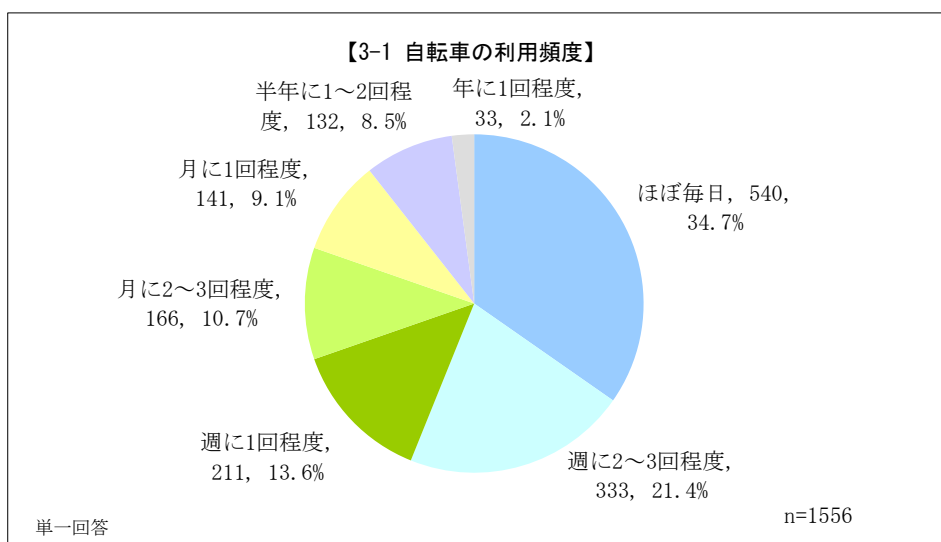
市民の約8割が自転車を利用している。

自転車を利用している人の利用頻度をみると、約35%が“ほぼ毎日”、約21%が“週2～3回程度”の高頻度の利用となっている。



資料：草津市民の交通に関するアンケート調査

図 自転車利用の有無

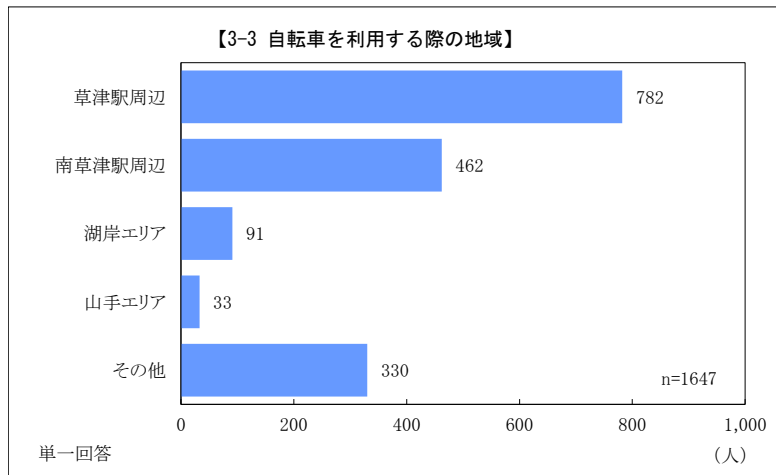


資料：草津市民の交通に関するアンケート調査

図 自転車の利用頻度

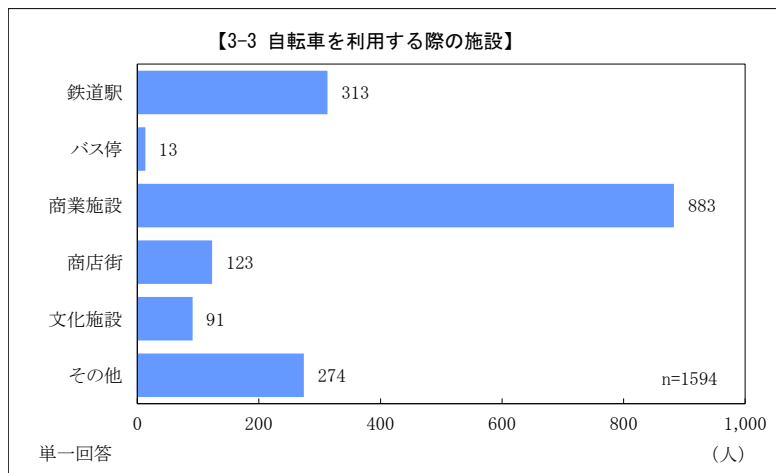
② 駐輪場所

駐輪場所については、草津駅周辺が最も多くみられている。利用施設では、商業施設の駐輪場が最も多くなっている。その際の駐輪場は、無料駐輪場を利用している人が多くみられている。



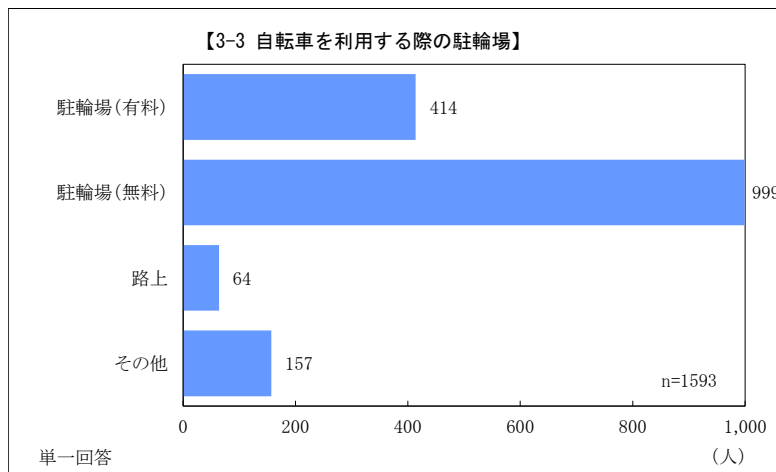
資料：草津市民の交通に関するアンケート調査

図 自転車を利用する際の地域



資料：草津市民の交通に関するアンケート調査

図 自転車を利用する際の施設

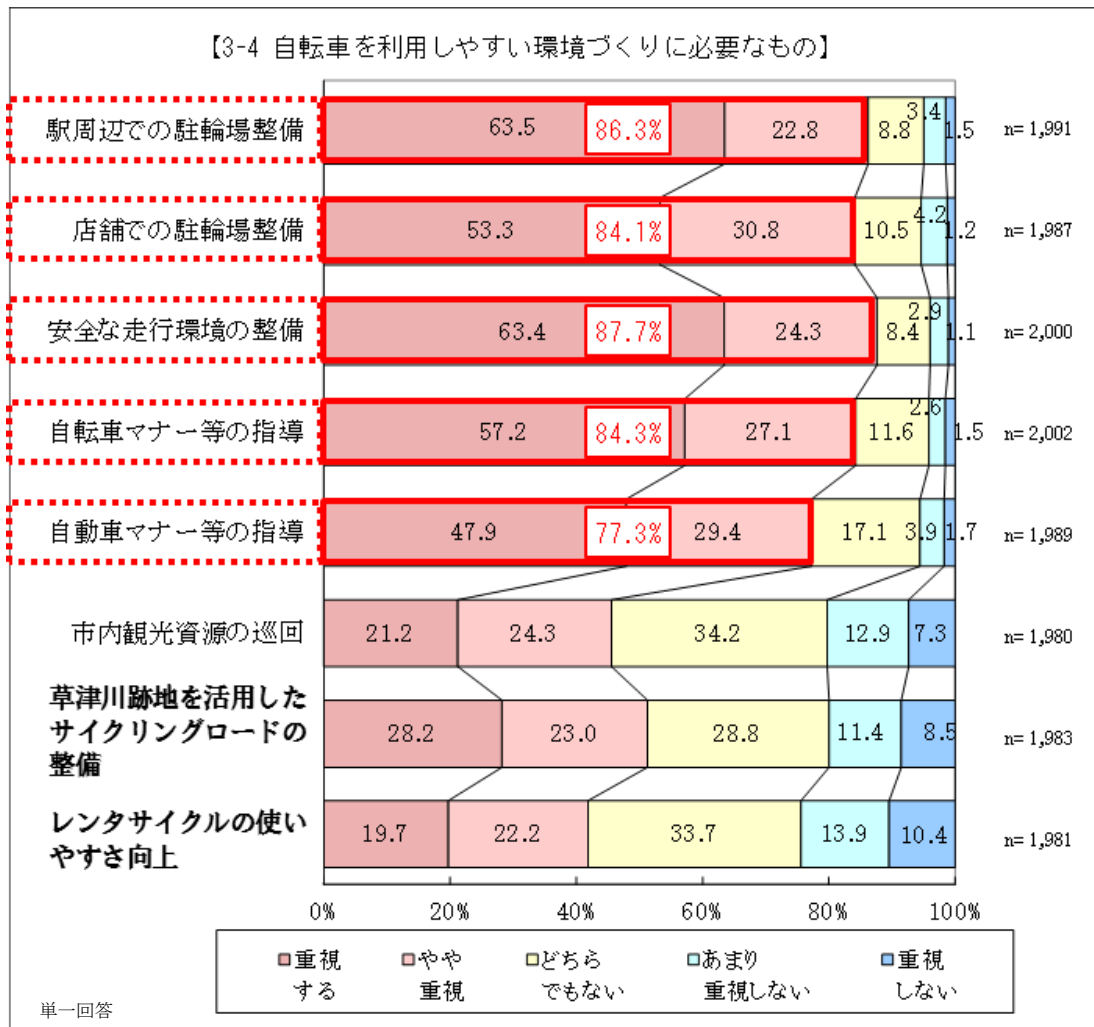


資料：草津市民の交通に関するアンケート調査

図 自転車を利用する際の駐輪場

③ 整備の必要性

自転車を利用しやすい環境づくりに必要なものについては、“駅周辺での駐輪場整備”や“店舗での駐輪場整備”、“安全な走行環境の整備”、“自転車マナー等の指導”、“自動車マナー等の指導”を求める声が8割（“重視する”と“やや重視”の合計）を上回っている。



資料：草津市民の交通に関するアンケート調査

図 自転車を利用しやすい環境づくりに必要なもの

全市的に、自転車を利用しやすい環境づくりについて“重視する”・“やや重視”の合計が8割以上と意見が多かった“駅周辺での駐輪場整備”や“店舗での駐輪場整備”、“安全な走行環境の整備”、“自転車マナー等の指導”、“自動車マナー等の指導”については、大きな地域差はみられない。

また、山田地域では、草津川跡地を活用したサイクリングロードの整備を求める意見が多くなっている。

	常盤地域	笠縫地域	山田地域	草津地域	志津地域	老上地域	玉川地域
駅周辺での駐輪場整備	○	○	○	○	○	○	○
店舗での駐輪場整備	○	○	○	○	○	○	○
安全な走行環境の整備	○	○	○	○	○	○	○
自転車マナー等の指導	○	○	○	○	○	○	○
自動車マナー等の指導	○	○	○	○	○	○	○
市内観光資源の巡回							
草津川跡地を活用したサイクリングロードの整備			○				
レンタサイクルの使いやすさ向上			山田地域で重視				

○：自転車を利用しやすい環境づくりについて  
“重視する” “やや重視する”の合計が6割を超えた項目

資料：草津市民の交通に関するアンケート調査

図 自転車を利用しやすい環境づくりに必要なもの【地域別】

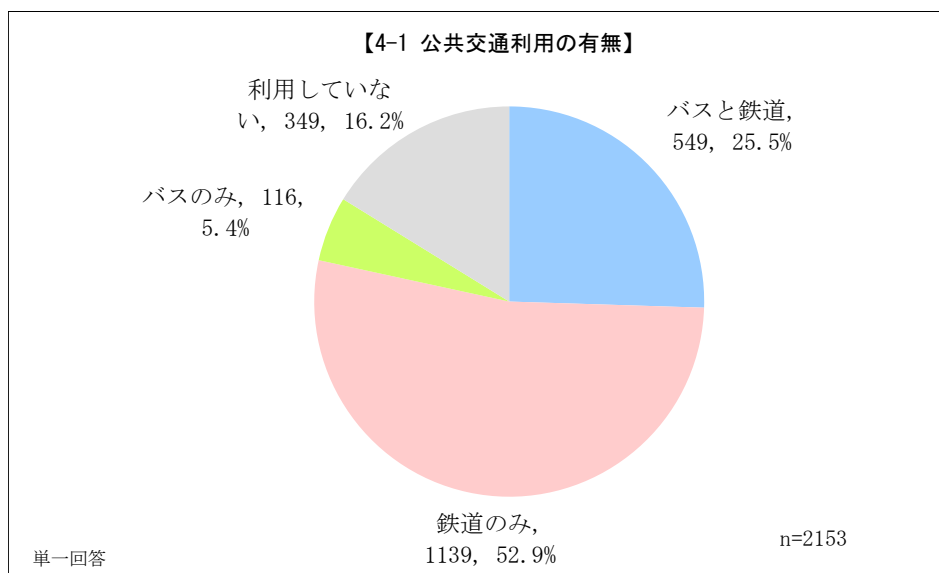


#### (4) 公共交通の利用環境

##### ① 利用状況

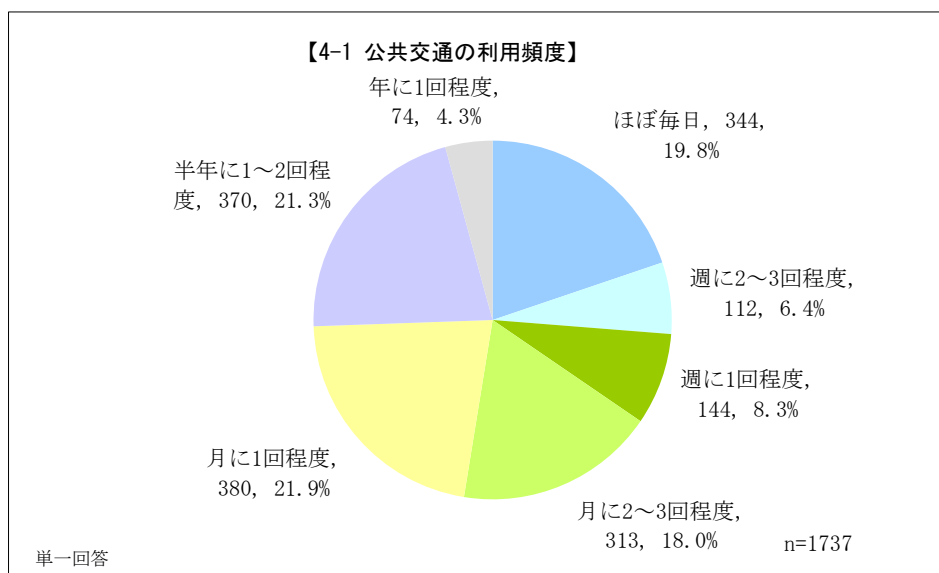
公共交通の利用状況を見ると、バスもしくは鉄道、あるいはバスと鉄道を利用している方が8割以上を占めている。そのうち、約26%がバスと鉄道をあわせて利用している。

公共交通を利用している人の利用頻度をみると、約2割の方が“ほぼ毎日”利用している。一方、利用者のうち、7割近くの方が“月2～3回程度”以下の利用頻度となっている。



資料：草津市民の交通に関するアンケート調査

図 公共交通利用の有無

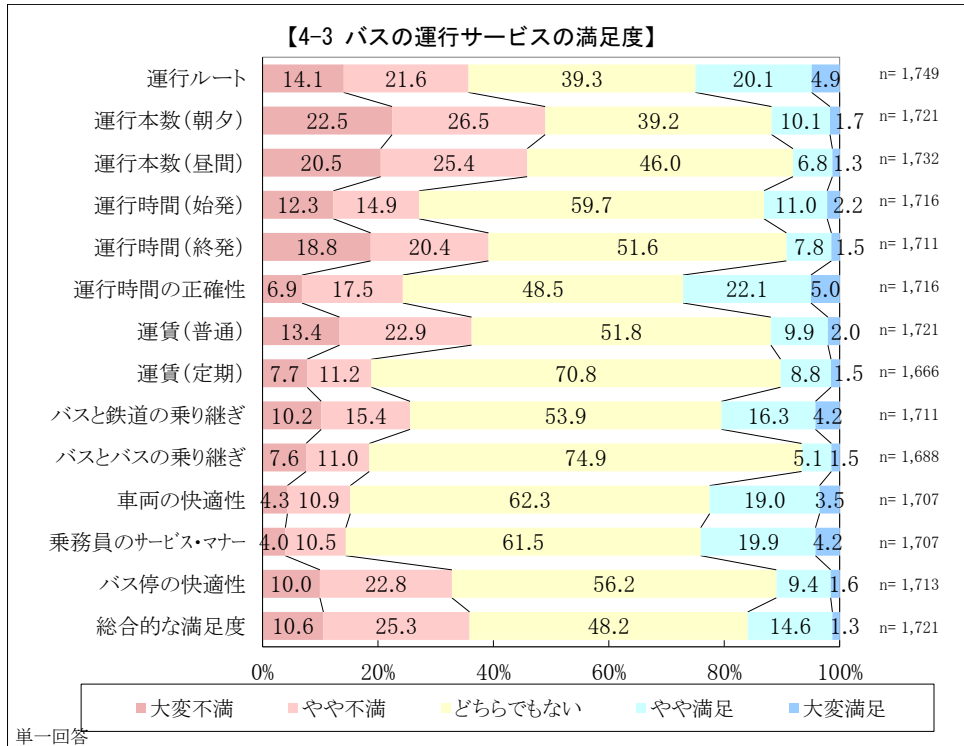


資料：草津市民の交通に関するアンケート調査

図 公共交通の利用頻度

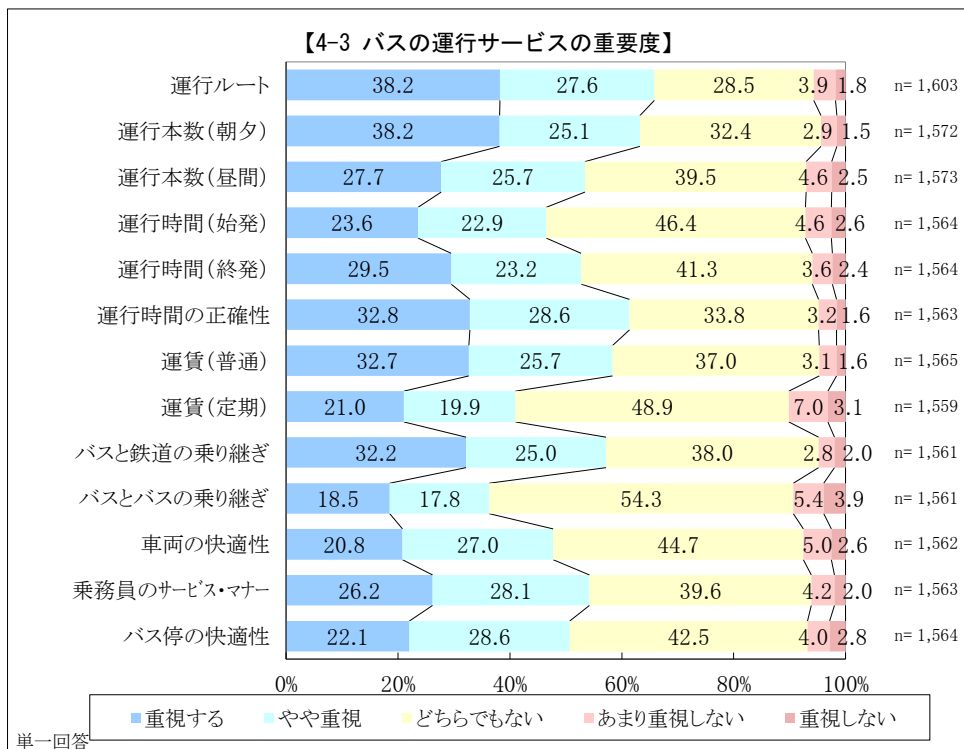
② バスサービスに対する満足度と重要度

回答者の約半数がバスの利用本数に不満を持っている。一方、運行時間の正確性や車両の快適性、乗務員のサービス・マナーについては、不満よりも満足の割合が高い。また、バスと鉄道の乗り継ぎについて、約 25%が不満を持ち、約 60%が“重要度が高い”と回答している。



資料：草津市民の交通に関するアンケート調査

図 バスの運行サービスの満足度



資料：草津市民の交通に関するアンケート調査

図 バスの運行サービスの重要度

バスの運行サービス内容としての重要度が高い一方、現状のサービスの満足度の低い項目として、“運行本数（朝夕）”、“運行本数（昼間）”、“運行時間（終発）”、“運賃（普通）”が挙げられる。

これらのサービス内容について、地域別にみると、朝夕の運行本数については、全市的に重要度が高く、満足度が低くなっている。一方、昼間の運行本数については、草津駅周辺や玉川地域において重要度が高く、満足度が低くなっている。

終発の運行時間については、草津地域以外の地域において重要度が高く、満足度が低くなっている。

普通運賃については、山田地域以外の地域において重要度が高く、満足度が低くなっている。

	常盤地域	笠縫地域	山田地域	草津地域	志津地域	老上地域	玉川地域
<b>草津駅周辺や玉川地域で重要度が高く、満足度が低い</b>							
運行ルート	○		○	○	○		○
運行本数（朝夕）	○	○	○	○	○	○	○
運行本数（昼間）		○		○			○
運行時間（始発）			○				
運行時間（終発）	○	○	○		○	○	○
運行時間の正確性	<b>草津地域以外で重要度が高く、満足度が低い</b>						
運賃（普通）	○	○		○	○	○	○
運賃（定期）	<b>山田地域以外で重要度が高く、満足度が低い</b>						
バスと鉄道の乗り継ぎ							○
バスとバスの乗り継ぎ							
車両の快適性							
乗務員のサービス・マナー							
バス停の快適性							

○：今後の重要度は高く、現状の満足度が低い項目

資料：草津市民の交通に関するアンケート調査

図 バスの運行サービスの重要度と満足度【地域別】

(5) 将来交通のあり方

① 移動を充実させるべき地域

常盤地域、笠縫地域、山田地域、草津地域については、草津駅への移動の充実を望む意見が多くみられている。一方、老上地域、玉川地域については、南草津駅への移動の充実を望む意見が多くなっている。また、志津地域については、草津駅、南草津駅双方への移動の充実を求める意見が多くなっている。

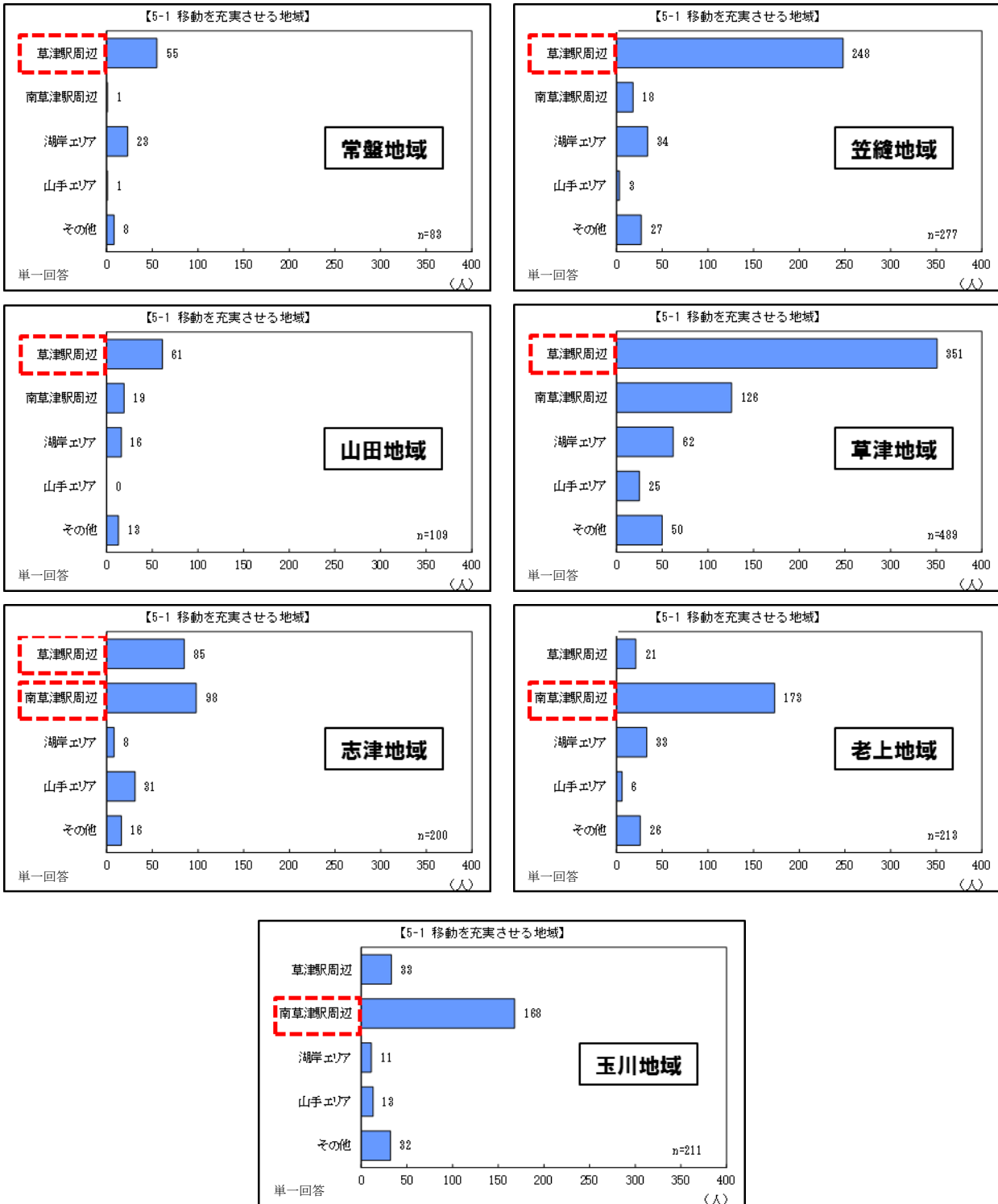
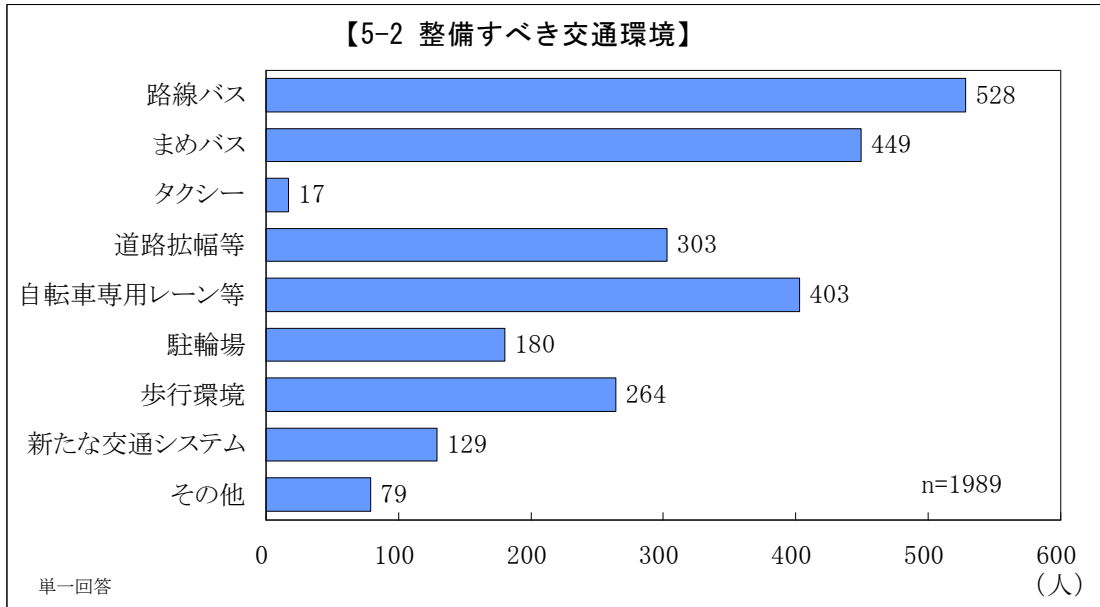


図 移動を充実させるべき地域【地域別】

② 移動の充実を図るために整備すべき交通環境

今後、移動の充実を図るために整備すべき交通手段については、路線バスやまめバス等のバス交通の整備が重要である意見が多くみられている。

ついで、自転車専用レーン等、あるいは道路拡幅等、歩行環境などの道路空間の整備が重要である意見も多くみられている。



資料：草津市民の交通に関するアンケート調査

図 移動の充実を図るために整備すべき交通環境

移動の充実を図るために整備すべき交通環境の上位 2 項目について、地域別にみると、“路線バス”、“まめバス”、“自動車・二輪車（道路拡幅等）”、“自転車（自転車専用レーン等）”のいずれかの項目に整理される。

路線バスについてみると、比較的路線バスのサービスの充実している草津地域以外の地域で、路線バスの整備を求める意見が多くなっている。

また、まめバスについては、現在運行されている常盤地域、山田地域、草津地域、玉川地域で充実を望む意見が多くなっている。

一方、道路混雑が発生している志津地域や老上地域では、道路拡幅をはじめとする自動車・二輪車の走行環境の充実を望む意見が多くなっている。

また、自転車専用レーンをはじめとする自転車の走行環境の充実については、草津駅周辺の地域において整備が望まれる傾向にある。

移動の充実を望む地域		←		草津駅	→		南草津駅		→		
		常盤地域	笠縫地域	山田地域	草津地域	志津地域	老上地域	玉川地域			
<b>草津地域以外で重視</b>											
路線バス		○	○	○		○	○	○			
まめバス		○		○	○					○	
タクシー		<b>現在まめバスを運行している地域で重視</b>									
自動車・二輪車 (道路拡幅等)						○	○				
自転車(自転車専用レーン等)			○		○				<b>道路混雑が発生している地域で重視</b>		
自転車(駐輪場)		<b>草津駅周辺で重視</b>									
歩行環境											
新たな交通システム											
その他											

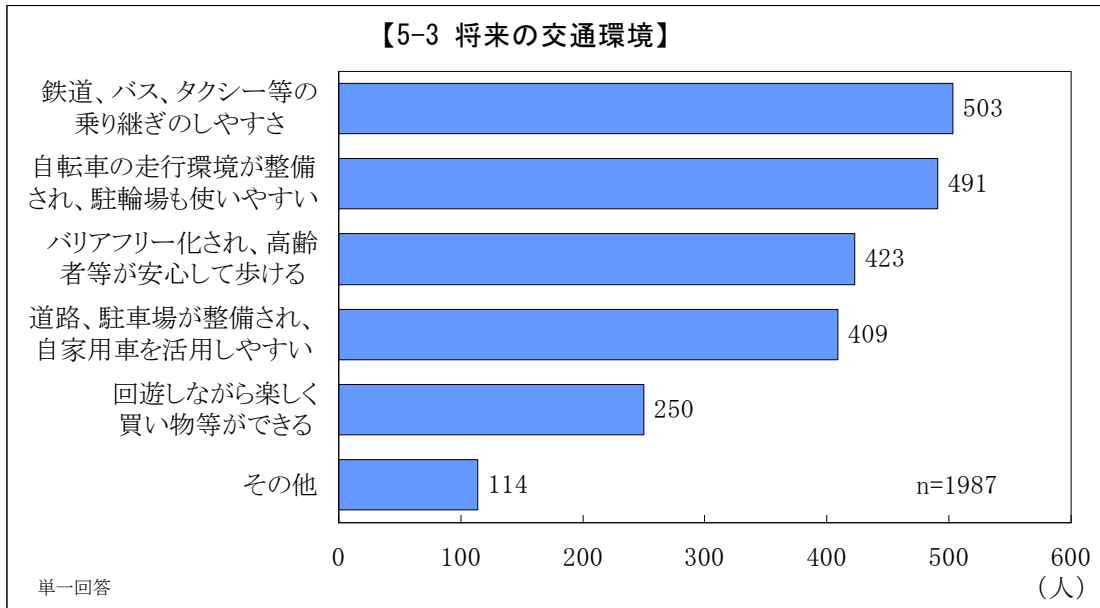
○：整備すべき交通環境について、地域ごとに上位に選ばれた 2 項目

資料：草津市民の交通に関するアンケート調査

図 移動の充実を図るために整備すべき交通環境【地域別】

③ 各地域から移動を充実すべき地域に求める将来の交通環境

各地域から移動を充実すべき地域（主に草津駅や南草津駅）に求める将来の交通環境については、“鉄道、バス、タクシー等の乗り継ぎのしやすさ”を望む声が最も多く、ついで“自転車の走行環境が整備され、駐輪場も使いやすい”、“バリアフリー化され、高齢者等が安心して歩ける”、“道路、駐車場が整備され、自家用車を活用しやすい”等の順に、市民のニーズが高くなっている。



資料：草津市民の交通に関するアンケート調査

図 整備すべき将来の交通環境

各地域から移動を充実すべき地域（主に草津駅や南草津駅）に求める将来の交通環境の上位2項目について、地域別にみると、“鉄道、バス、タクシー等の乗り継ぎのしやすさ”を望む声が最も多く、ついで“自転車の走行環境が整備され、駐輪場も使いやすい”、“バリアフリー化され、高齢者等が安心して歩ける”、“道路、駐車場が整備され、自家用車を活用しやすい”のいずれかの項目に整理される。

市域のいずれの地域においても、鉄道・バス等の乗り継ぎしやすい環境の充実を求める意見がみられている。

移動の充実を望む地域	← 草津駅		南草津駅 →				
	常盤地域	笠縫地域	山田地域	草津地域	志津地域	老上地域	玉川地域
鉄道・バス等を乗り継ぎしやすい環境	○	○	○	○	○	○	○
自転車を使いやすい環境		○	○	○	○	○	○
安心して歩ける環境	○	○		○			○
自家用車を活用しやすい環境	○		○	○	○	○	
回遊しながら買い物等ができる環境							
その他							

○：将来求める交通環境について、地域ごとに上位に選ばれた3項目

資料：草津市民の交通に関するアンケート調査

図 整備すべき将来の交通環境【地域別】

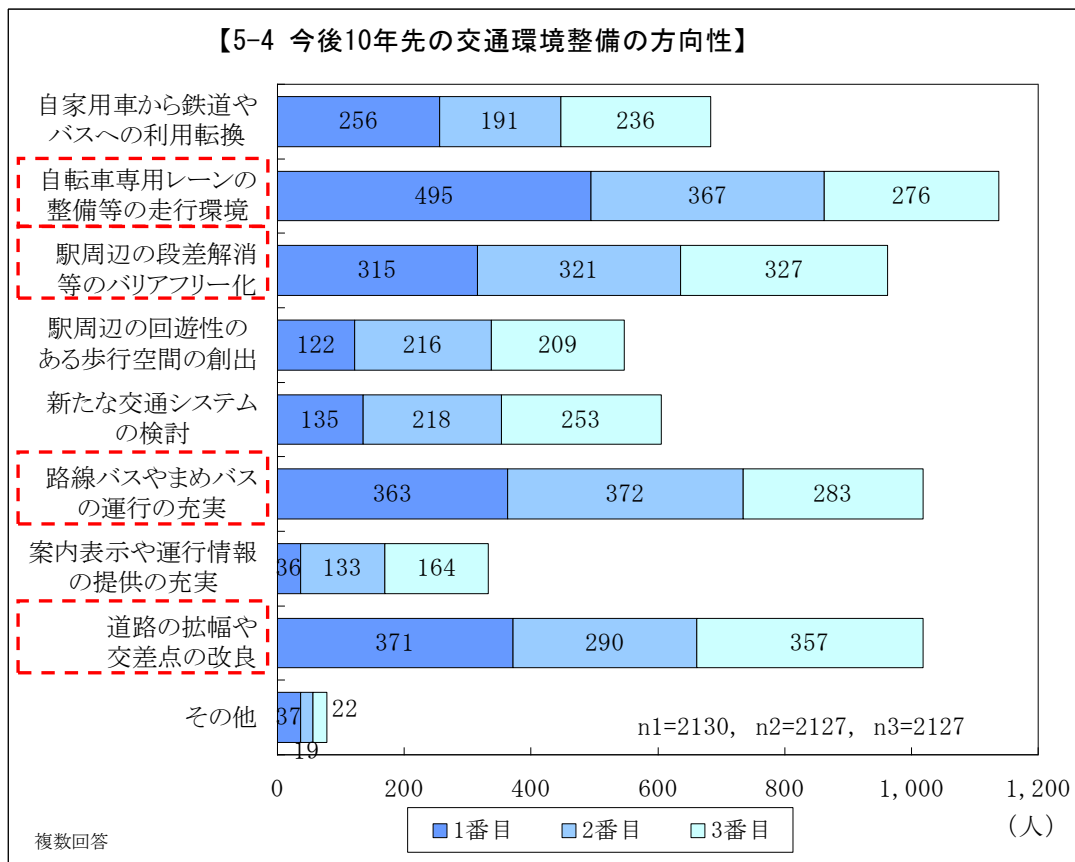


(6) 10年先に優先すべき交通環境

今後10年先の交通環境の整備の方向性についてみると、“自転車専用レーンの整備等の走行環境”が1番目に優先する意見と全体を通じての意見のいずれも多くなっている。

1番目に優先する意見としては、“自転車専用レーンの整備等の走行環境”について、“道路の拡幅や交差点の改良”、“路線バスやまめバスの運行の充実”等となっている。

一方、全体を通じての意見としては、“自転車専用レーンの整備等の走行環境”について、“道路の拡幅や交差点の改良”と“路線バスやまめバスの運行の充実”、“駅周辺の段差解消等のバリアフリー化”等となっている。



資料：草津市民の交通に関するアンケート調査

図 今後10年先の交通環境設備の方向性

今後 10 年先の交通環境の整備の方向性の上位に選ばれた項目としては、“自転車専用レーンの整備等の走行環境”、“道路の拡幅や交差点の改良”、“路線バスやまめバスの運行の充実”、“駅周辺の段差解消等のバリアフリー化”が挙げられる。

自転車の走行環境の改善については、常盤地域以外の地域でのニーズが高くなっている。また、道路拡幅/交差点改良については、全域でニーズが多くみられている。

バスサービスの充実については、駅周辺以外の地域でニーズが高くなっている一方、バリアフリー化については、草津駅周辺でニーズが高くなっている。

	常盤地域	笠縫地域	山田地域	草津地域	志津地域	老上地域	玉川地域
バスへの利用転換							
自転車の走行環境の改善		○	○	○	○	○	○
駅周辺のバリアフリー化		○		○			
駅周辺の歩行空間の創出							
新たな交通システムの検討	○						
バスサービスの充実	○		○		○	○	○
情報提供の充実							
道路拡幅／交差点改良	○	○	○	○	○	○	○

常盤地域以外で重視

草津駅周辺で重視

駅周辺以外で重視

○：今後10年先に優先すべき交通環境整備の方向性について地域ごとに上位に選ばれた3項目

資料：草津市民の交通に関するアンケート調査

図 今後 10 年先の交通環境設備の方向性【地域別】

### 3.2 事業所アンケート調査

草津市域における通勤行動を対象として、現状や公共交通サービスの満足度・重要度の把握を行うとともに、草津市民が抱く将来交通のあり方を整理するため、事業所を対象とした以下のアンケート調査を実施した。

#### 【調査の概要】

対象事業所：草津市にある従業員数 20 名以上の事業所

発 送 日：平成 24 年 12 月

配布・回収：ともに郵送

発 送 数：132 事業所

回 収 数：68 事業所（＝回収率 約 52%）

調 査 内 容：① 事業所の概要

② 通勤交通の現状

③ 通勤制度の現状

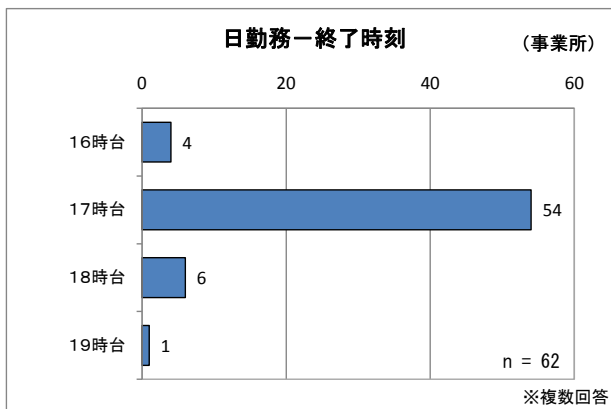
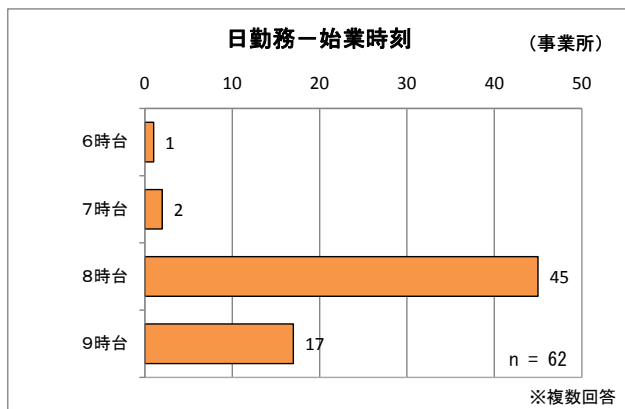
④ 現状の問題点

⑤ 将来交通のあり方

(1) 通勤交通の現状

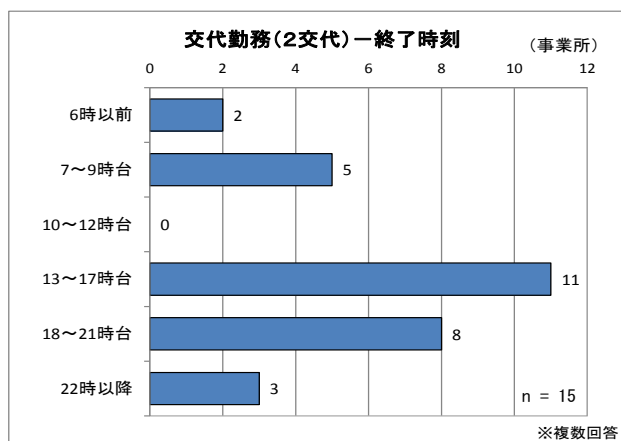
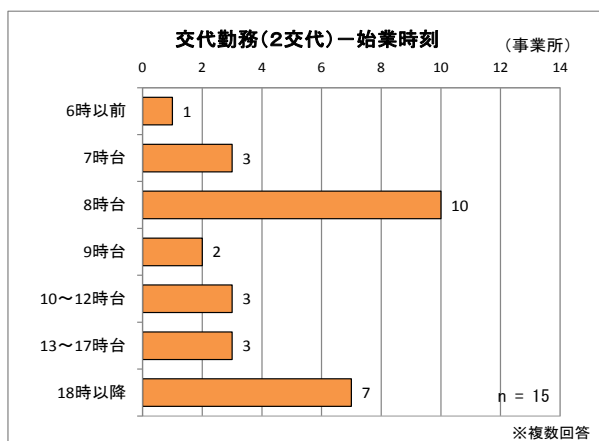
① 出退勤時刻

日勤務制を導入している事業者については、始業時間が8時台、終了時刻が17時台の事業所が最も多くなっている。また、交代制を導入している事業所については、始業、終了時刻に大きなピークはみられない。



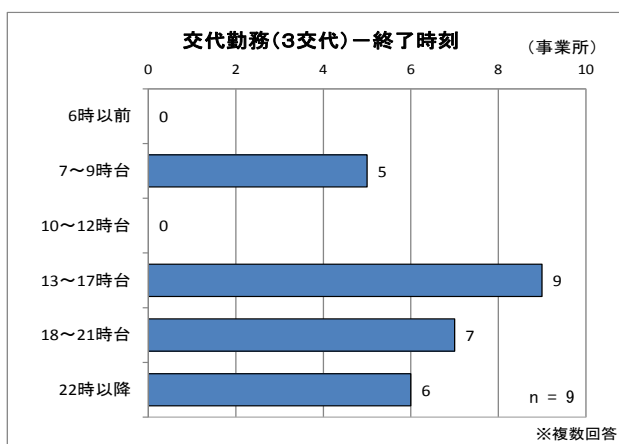
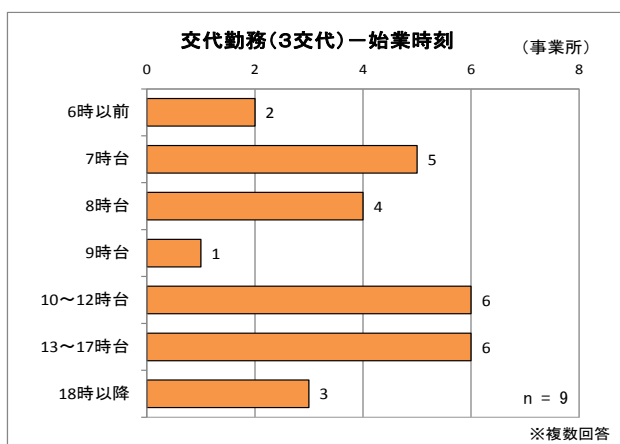
資料：草津市事業所アンケート調査

図 日勤務制における始業時刻(左)および終了時刻(右)



資料：草津市事業所アンケート調査

図 2 交代勤務制における始業時刻(左)および終了時刻(右)

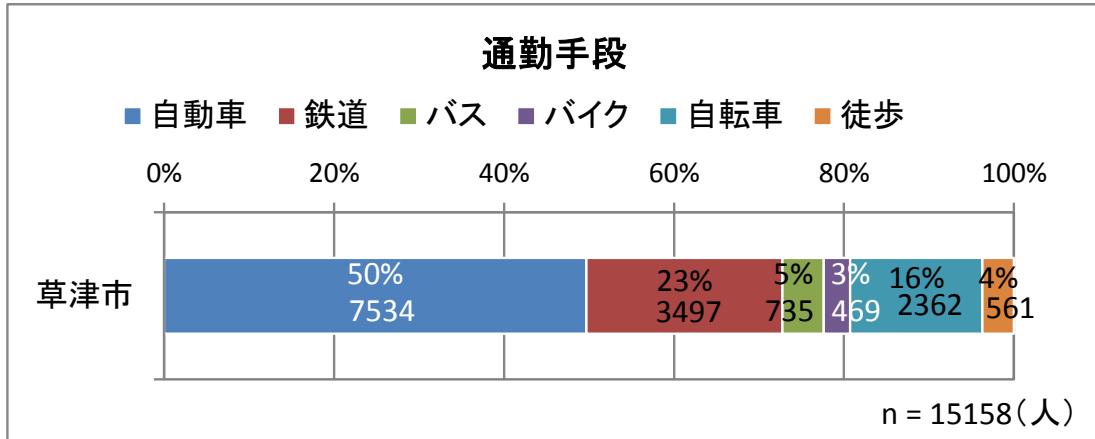


資料：草津市事業所アンケート調査

図 3 交代勤務制における始業時刻(左)および終了時刻(右)

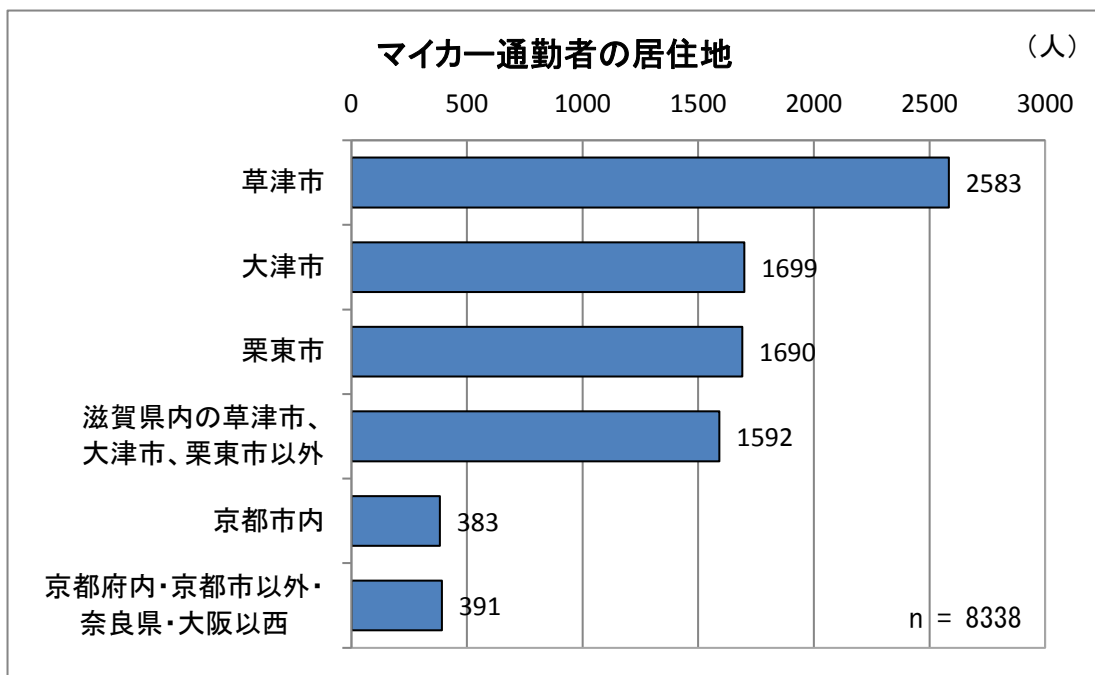
② 通勤手段

マイカー通勤の割合が約5割となっている。また、マイカー通勤者の居住地については、草津市内が最も多くなっている。



資料：草津市事業所アンケート調査

図 通勤手段の内訳



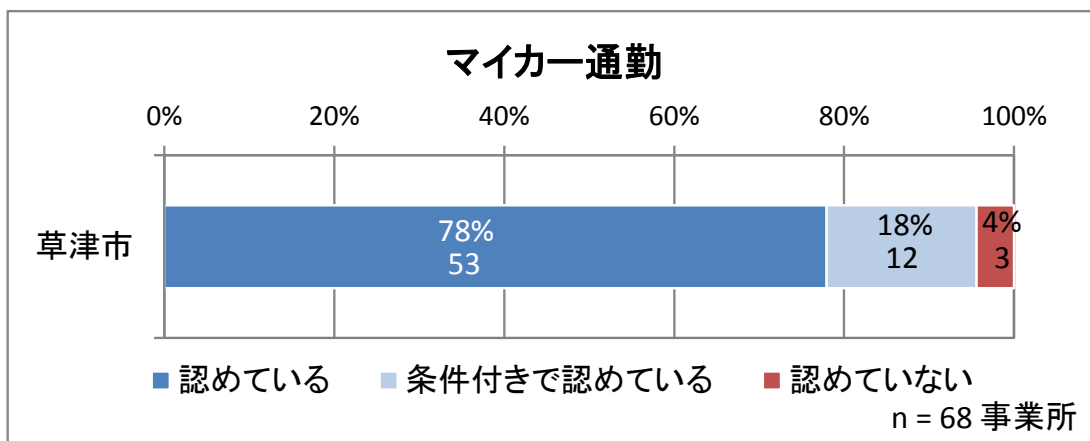
資料：草津市事業所アンケート調査

図 マイカー通勤者の居住地

(2) 通勤制度の現状

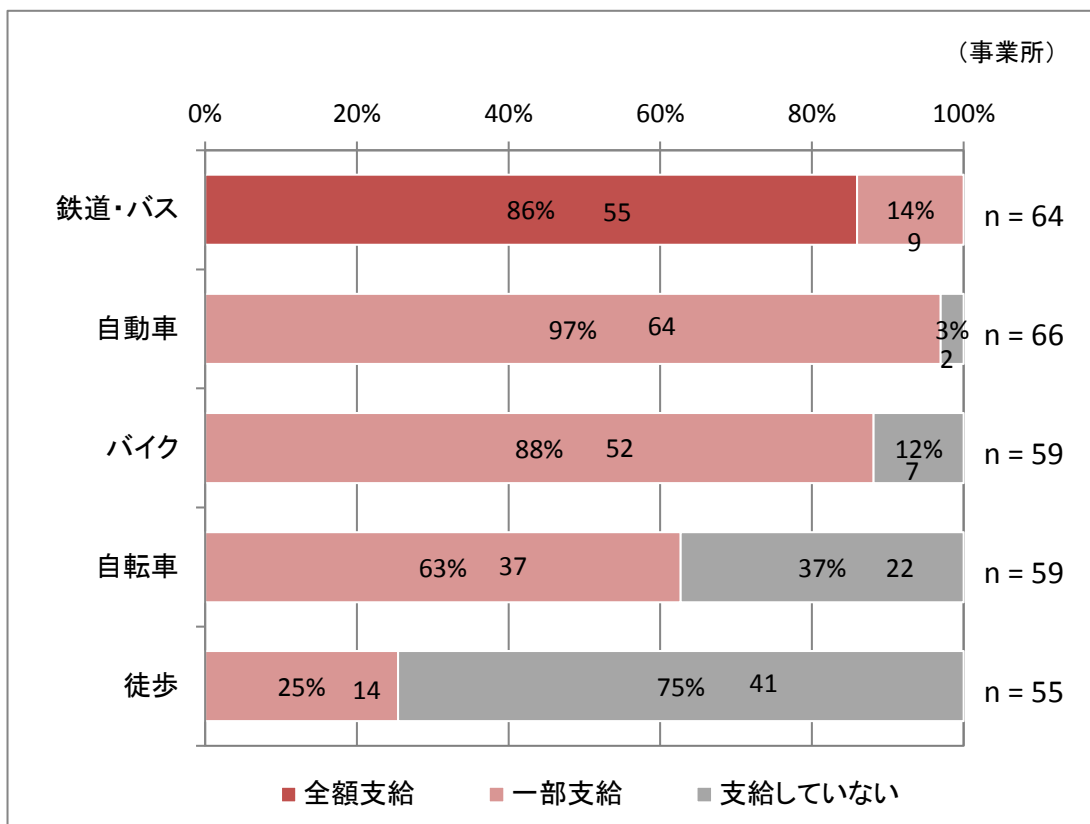
マイカー通勤を認めている事業所は、約 78%となっている。

通勤手当の支給状況については、鉄道・バスの通勤者に対しては、約 86%以上の事業所（55 事業所）が通勤手当を全額支給している。また、自動車に対しては、ほぼ全ての事業所で通勤手当を一部支給している。一方で、自転車に対しては約 63%（37 事業所）、徒歩に対しては約 25%（14 事業所）の事業所での一部支給に留まっている。



資料：草津市事業所アンケート調査

図 マイカー通勤者の許可状況



資料：草津市事業所アンケート調査

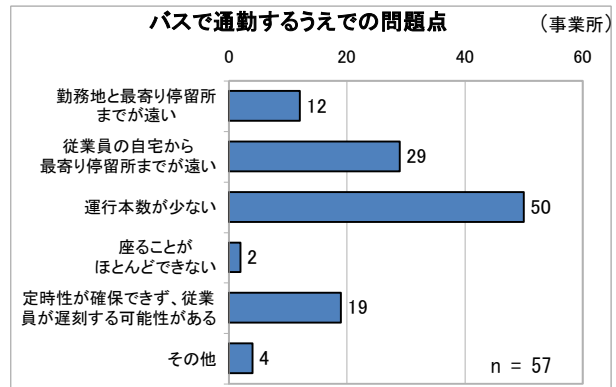
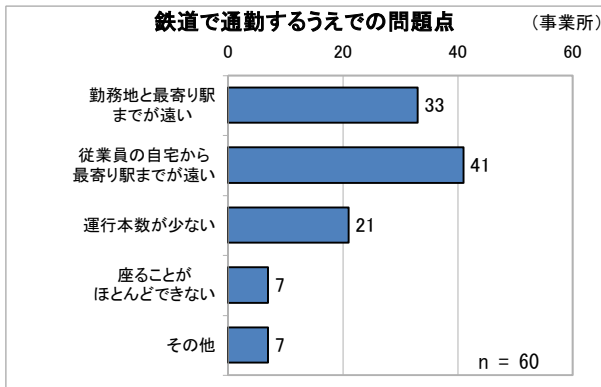
図 通勤手当の支給状況

### (3) 現状の問題点

#### ① 公共交通

鉄道で通勤する上では、“従業員の自宅から最寄り駅までが遠い”、“勤務地と最寄り駅までが遠い”が大きな問題点となっている。

また、バスで通勤する上では、“運行本数が少ない”、“従業員の自宅から最寄り停留所までが遠い”ことが、問題点として挙げられている。



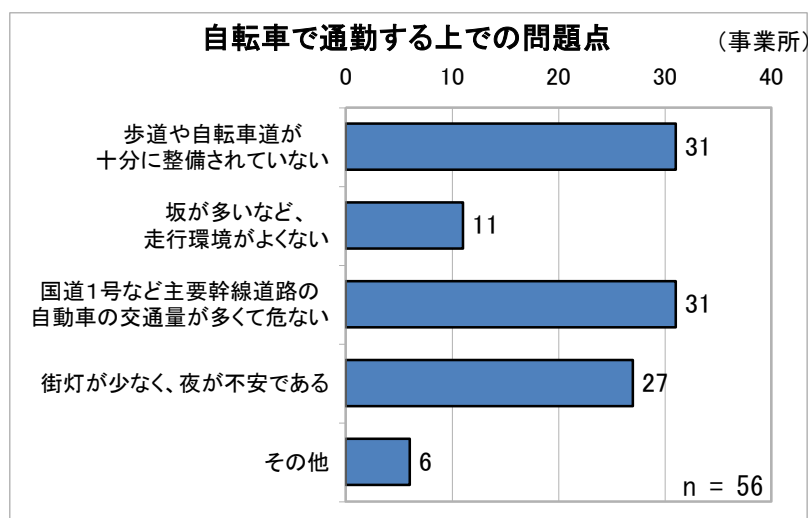
資料：草津市事業所アンケート調査

図 鉄道(左)およびバス(右)で通勤するうえでの問題点

#### ② 自転車

自転車で通勤する上では、“歩道や自転車道が十分に整備されていない”、“国道1号など主要幹線道路の自動車の交通量が多くて危ない”ことが大きな問題点となっている。また、“街灯が少なく、夜が不安である”ことも27事業所(約48%)が問題点として挙げている。

一方、“坂が多いなど、走行環境がよくない”ことについては、11事業所(約20%)が挙げているに留まっている。



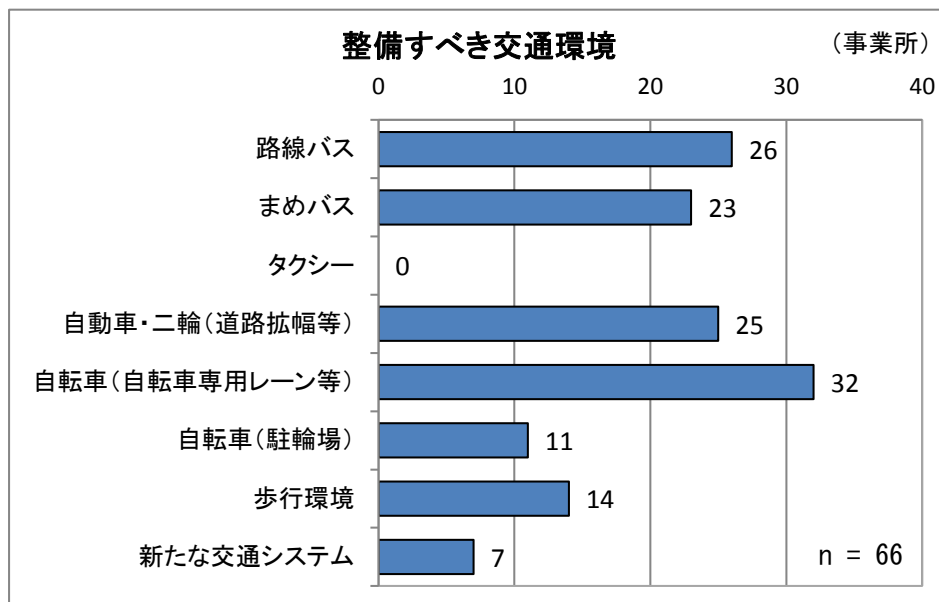
資料：草津市事業所アンケート調査

図 自転車で通勤するうえでの問題点

(4) 将来交通のあり方

① 整備すべき交通環境

整備すべき交通環境については、“自転車（自転車専用レーン等）”が最も多く、ついで“路線バス”、“自動車・二輪（道路拡幅等）”となっている。

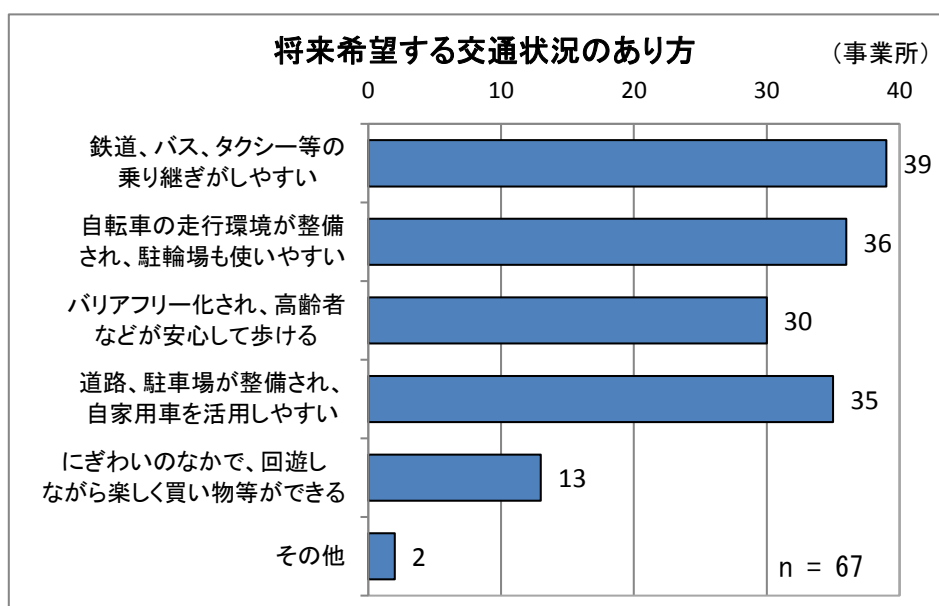


資料：草津市事業所アンケート調査

図 整備すべき交通環境

② 将来希望する交通状況のあり方

将来希望する交通状況のあり方については、“鉄道、バス、タクシー等の乗り継ぎがしやすい”が最も多く、ついで“自転車の走行環境が整備され、駐輪場も使いやすい”、“道路、駐車場が整備され、自家用車を活用しやすい”となっている。



資料：草津市事業所アンケート調査

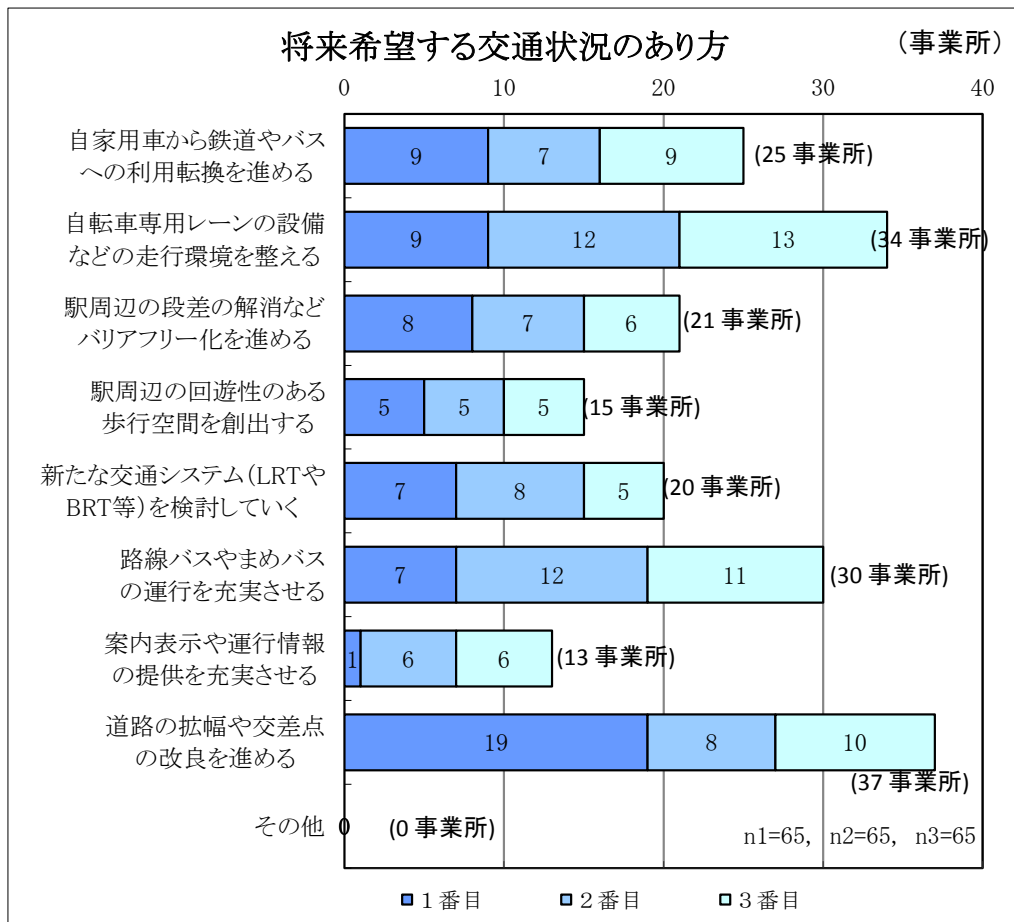
図 整備すべき交通状況



③ 整備の方向性

今後 10 年先を見通した草津市全体の交通環境については、“道路の拡幅や交差点の改良を進める”が 37 事業所と最も多く、ついで“自転車専用レーンの設置などの走行環境を整える”の 34 事業所、“路線バスやまめバスの運行を充実させる”の 30 事業所となっている。

一方、“案内表示や運行情報の提供を充実させる”や“駅周辺の回遊性のある歩行空間を創出する”は、それぞれ 13 事業所、15 事業所に留まっている。



資料：草津市事業所アンケート調査

図 今後 10 年先の交通環境設備の方向性

### 3.3 市民ニーズから導き出される課題

#### (1) 高齢者への対応

草津市では、利用できる自動車のない高齢者が2割、運転を控えたい高齢者が1割存在しており、今後、高齢化がさらに進展していく中で、自動車以外の交通手段に頼らざるを得ない高齢者が多くなることが見込まれることから、高齢者に配慮し、自動車に頼らずとも、自由に移動できる交通環境の整備が必要となっている。

#### (2) 歩行環境の整備

“歩道がない”、“夜間の道が暗い”、“歩道走行の自転車がが多い”など、歩行環境を理由に外出を控えている市民が約1割存在していることから、外出を促すために、歩行環境の整備や改善が必要となっている。

#### (3) 自転車利用環境の整備

自転車を利用する市民が8割を占める一方、自転車の走行環境や駐輪環境の整備を求めるニーズが高くなっていることから、安全かつ快適な利用を促進するために、自転車利用環境の整備が必要となっている。

#### (4) 公共交通利用環境の整備

バスと鉄道をともに利用している人が市民の約25%を占めているが、“バスと鉄道の乗継に不満を持っている”市民が約25%、“整備の重要度が高い”と考えている市民が約60%おり、乗継利便性を考慮した交通環境の整備が必要となっている。

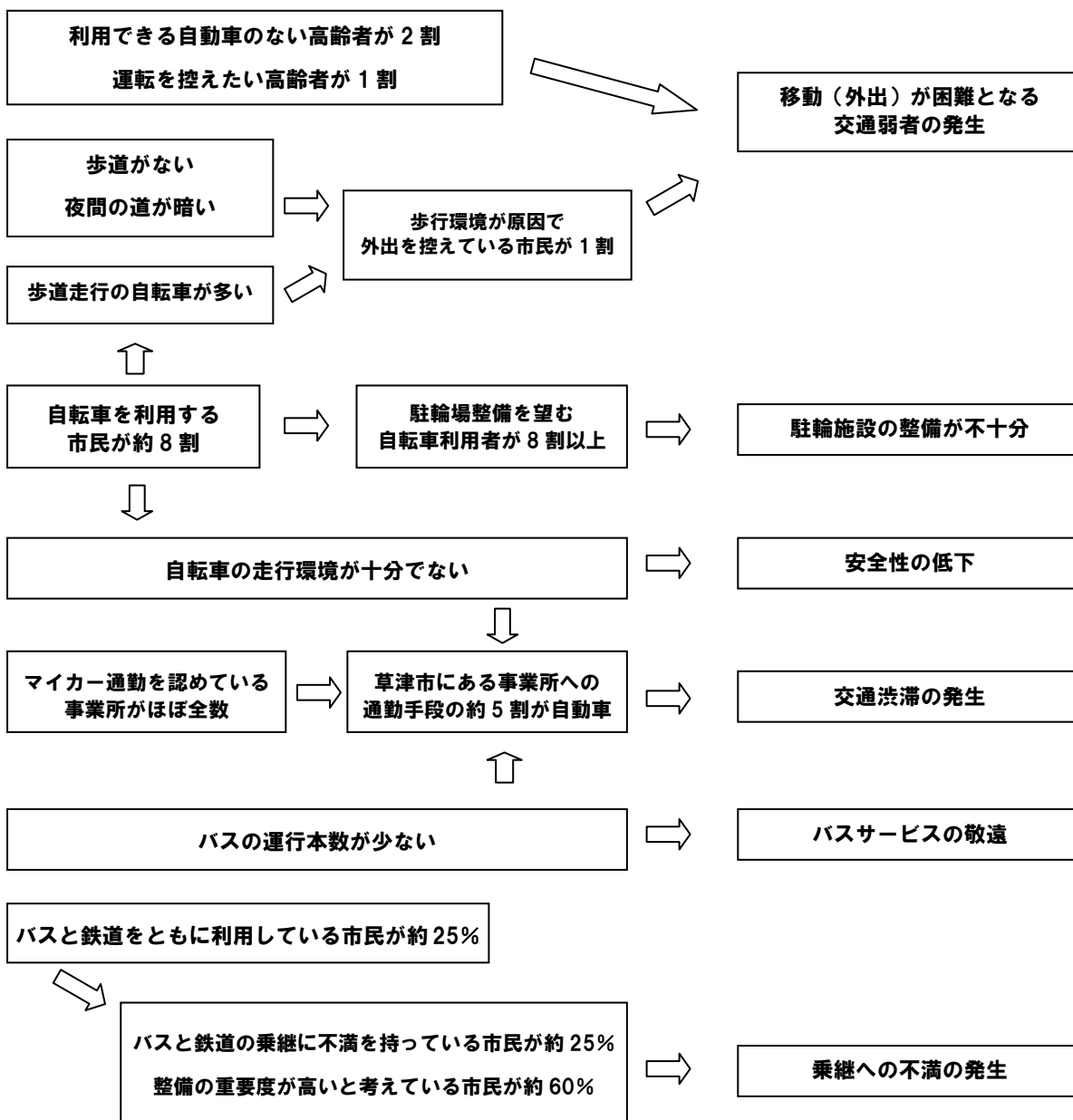
#### (5) 通勤需要への対応

草津市では、マイカー通勤を認めている事業所が多いことから、従業員の通勤手段の約5割がマイカーとなっており、交通渋滞の発生に繋がっていると考えられる。

なお、マイカー通勤の理由として、バスサービスの脆弱性が指摘されていることから、通勤交通の観点からも、自動車に代わる交通環境の整備が必要となっている。

## 背景・ニーズ

## 問題点



## 課題

- ★自動車にかわる、人にやさしい公共交通環境の整備
- ★安心できる歩行環境の整備
- ★高齢者に配慮した交通サービスの提供
- ★安全かつ快適な利用を支える自転車環境の整備
- ★自動車に頼らない、環境にやさしい市民意識の形成
- ★乗継利便性を考慮した交通サービスの整備

## 市民ニーズから導き出される地域特有の問題点・課題

地 域	問題点・ニーズ	課 題
草津駅周辺	・ 歩道の段差	・ バリアフリー化
草 津	・ 休憩場所	・ 歩行者の利便性向上
常 盤	・ 歩道の連続性	・ 歩行者の利便性向上
	・ 休憩場所	
	・ 新たな交通システム	・ 公共交通サービスの提供
笠 縫	・ 休憩場所	・ 歩行者の利便性向上
山 田	・ 歩道の連続性	・ 歩行者の利便性向上
	・ 休憩場所	
	・ サイクリングロードの整備	・ 自転車の利便性向上
志 津	・ 歩道の連続性	・ 歩行者の利便性向上
南草津駅周辺	-	-
老 上	-	-
玉 川	-	-

※ 全市的な問題点やニーズ、課題と同じものは除く